

会 員 各 位

(公社)日本医業経営コンサルタント協会

**本部継続研修実施のご案内(平成27年7月・8月/集中)**

7月・8月の継続研修(集中)の開催要領が次の通り決定しましたので、ご案内いたします。  
1 講義 (2時間 6,000円) 単位でご受講いただけます。

■ **研 修 日 程** ※カリキュラム内容は、別紙ご参照ください。

7月22日(水)～24日(金) / 8月19日(水)～21日(金)

■ **会 場**

コクヨホール (東京都港区港南1丁目8番35号 TEL.:03-3450-3712)

<http://www.kokuyo.co.jp/com/hall/access/>

■ **定 員** 各講義 200名

(定員を超えた場合はお断りすることがございますので、ご了承ください。)

■ **対 象 者** 当協会の会員(個人正会員)

■ **受 講 料** 各講義 6,000円 (2時間) (内税)

■ **履 修 認 定** 各講義 2時間

(医業経営コンサルタントの方は、平成27年度の本部主催継続研修分となります。)

■ **お 申 込 方 法**

- ① 郵便局に備付けの郵便振替用紙の通信欄に必要事項をご記入の上、受講料を下記の口座にお振込みください。(銀行振込をご希望の場合は、事務局までお申し出ください。)
- ② 会員専用ページからのWeb申込、または「申込書」に必要事項をご記入の上、指定欄に払込票の控えを貼付し、FAXでお送りください。
- ③ 研修日の約一週間前に受講受付確認(会場案内含む)を登録通信先にお送りします。
- ④ 定員数に達している等受付できない場合には、申込受付後すぐにご連絡します。
- ⑤ 振込受講料は、事前に受講キャンセルの連絡がある場合に限り、返金いたします。

口座番号	00140-8-549669
加入者名	(公社)日本医業経営コンサルタント協会
通信欄	『 <u>会員No.( )</u> 』、『 <u>( )月/集中研修</u> 』とご記入ください。 ※事業所名でお振込みになる際には、受講される方のお名前もご記入ください。

**事前申込締切日**      7月開催分      7月12日(日)

定員になり次第締切り      8月開催分      8月 9日(日)

(会場・資料の準備等の都合上、事前申込をお願いいたします。)

お問合せ先：事務局 事業部事業第一課 研修・履修認定係

直通 TEL 03-5275-6993 / 代表 TEL 03-5275-6996

平成27年度7月 継続研修(集中)カリキュラム

東京集中研修【会場：コクヨホール 東京都港区港南1-8-35 <http://www.kokuyo.co.jp/com/hall/access/>】

ステージ		セカンドステージ※
開催日	時間	講座名 / 講師 / 講義概要
7月22日(水)	10:00～12:00	<p><b>【講座名】 地域包括ケアのカギを握る訪問看護ステーション</b></p> <p>服部メディカル研究所 所長 服部 万里子</p> <p>1. 地域包括ケアの法的根拠と内容、今後の動向 2. 訪問看護ステーションの事業基準、人員基準 3. 医療機関の訪問看護の違い 4. 訪問看護ステーションの変遷 5. 訪問看護ステーションの経営、運営課題 6. 訪問看護ステーションの今後の方向性</p>
	13:00～15:00	<p><b>【講座名】 地域包括ケアシステムの中で描かれる医療・介護の未来 ～今求められる地域包括ケアの中での経営戦略～</b></p> <p>社会福祉法人 若竹大寿会 法人本部長 石垣 修一</p> <p>2014年6月24日閣議決定において示された方針のとおり、2015年介護報酬改定は介護保険制度創設以来最大の下げ幅となり、通所介護、特養をはじめ多くの事業所が経営悪化を余儀なくされているにもかかわらず、地域包括ケアの担い手となるサービスについては手厚い改定となった。改定を通じて政府の描く地域包括ケアの未来はどのような世界か。そしてそのシステムの中で医療・介護はどのような役割を求められていくのか。本セミナーでは、2015年改定の状況も踏まえながら、平成30年同時改定も見据え、求められる今後の経営戦略等についてわかりやすく解説する。</p>
	15:00～17:00	<p><b>【講座名】 地域医療構想と医療機関の経営戦略</b></p> <p>東京大学政策ビジョン研究センター 特任教授 九州大学 名誉教授 尾形 裕也</p> <p>本年3月末に公表された地域医療構想策定ガイドラインを踏まえ、各都道府県は、それぞれの地域医療構想を策定し、2025年に向けた医療政策を展開することとなる。医療機関にとっては、地域における自院のミッションに基づき、ポジショニングを明確にしていくことが一層求められる。本講義においては、地域医療構想と医療機関の経営戦略についてわかりやすく論ずる。</p>
7月23日(木)	10:00～12:00	<p><b>【講座名】 橋本市民病院の経営改革（自治体病院の新しい経営改革モデル）</b></p> <p>橋本市民病院 事務局長 豊岡 宏</p> <p>地方の中小規模の自治体病院は、①職員定数の制限②高コスト体質③医師不足という3つの問題を抱えており、それゆえ多くの病院で経営がうまく行っていない。橋本市民病院では3年前に事務局長を公募。民間から登用された事務局長は、①と②は「アウトソーシングと業務移管」、③は「これまでにない発想と対策」で対処。その上で「自治体病院の新しい経営改革モデル」を構築すべく、平成25年12月から経営改革プロジェクトをスタートさせた。病院長をヘッドとし、医療の質向上と経営の再建を目標に始まったこのプロジェクトは、その傘下に、テーマごとに12のワーキングチームを組織。職種横断的に参加を求めた多くの職員に、その道のプロの委託会社メンバーも加わって検討・準備を行った後、平成26年4月から2年計画で実行に着手した。その結果、橋本市民病院は、平成25年度の3億5000万円の赤字が平成26年度は1億1000万円の黒字となり、1年間で4億6000万円の損益改善を達成した。その橋本市民病院における経営改革の内容について報告する。</p>
	13:00～15:00	<p><b>【講座名】 介護報酬改定後の介護施設及び介護事業所別経営改善策</b></p> <p>(株)ヘルスケア経営研究所 副所長 認定登録 医業経営コンサルタント 酒井 麻由美</p> <p><b>第1部 施設系サービスの経営改善策と実践事例</b></p> <p>今改定で各施設別の役割が明確に示され、求められる役割・機能の達成施設と未達成施設では報酬上明確に差が付けられ、次回改定もこの流れが進むだろう。そこで既述の点も踏まえ、マイナス改善に向けた法人内・外連携によるベッドマネジメント策、加算算定方法、効果的な実績管理策についてお伝えする。</p>
	15:00～17:00	<p><b>第2部 訪問・通所系サービスの経営改善策と実践事例</b></p> <p>訪問看護・訪問介護・通所介護は重度対応、訪問リハ・通所リハは改善と回転など求められる役割が加算で明確となり、加算算定に向けての実施体制整備と利用者確保で課題を抱える事業所が多い中で、新たな人員体制要件と加算要件の解説を行う。と同時に事例も踏まえた新規利用者確保・利用率増加策を紹介する。</p>
7月24日(金)	10:00～12:00	<p><b>【講座名】 平成28年診療報酬改定に向けて、もう一度、平成26年改定を考える</b></p> <p>高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科 准教授 木村 憲洋</p> <p>平成28年の診療報酬改定は、平成27年の介護報酬改定から厳しくなることを覚悟している医療機関が多いと思われる。そこで、平成26年の診療報酬改定を踏まえ、来年に向けて、医療機関としてできることがないのか考察する。</p>
	13:00～15:00	<p><b>【講座名】 医療クラーク導入による勤務医の診療外業務軽減への取り組み</b></p> <p>埼玉県済生会栗橋病院 病院長 遠藤 康弘</p> <p>2010年度改定において「医師事務作業補助体制加算」が新設された。当院ではこのような政策的な動きに先行して独自の取組を進め、2005年6月から「医療クラーク」を導入し、段階的に人員を増やし現在体制加算15:1を収得している。この取り組みにより医師の時間外勤務の減少をもたらすなど、医師勤務環境改善など効果とともに、診断書作成までの日数短縮など患者サービスにも良い結果をもたらした。チーム医療を促進させるための新たな職種である医療クラークを、いかに効率的に育成し配置するか言及したい。</p>
	15:00～17:00	<p><b>【講座名】 始まります。医療事故調査制度。</b></p> <p>認定登録 医業経営コンサルタント 当協会東京都支部 理事、弁護士、税理士 高須 和之</p> <p>医療法の一部改正により、医療事故調査制度が本年10月1日から施行される。医療事故調査制度とは？なぜ、このような制度ができたのか？制度の目的・内容は？本制度により、何が変わり何が変わらないのか？医療事故ならすべてが対象となるのか？医療現場が予め準備しなければならないことは？等々。具体例を踏まえながら明快に解説する。</p>

※セカンドステージ定義：医業経営管理全般にわたる体系的な理論、先端的な事例等を専門的に深耕する

平成27年度 8月 継続研修(集中)カリキュラム

東京集中研修【会場：コクヨホール 東京都港区港南1-8-35 <http://www.kokuyo.co.jp/com/hall/access/>】

ステージ		セカンドステージ※	
開催日	時間	講座名 / 講師 / 講義概要	
8月19日(水)	10:00 ～ 12:00	<b>【講座名】今、医療機関に必要なコーチング・マネジメント</b> メディカル経営問題研究所 代表、認定登録 医業経営コンサルタント 須田 稔	コーチングとは、相手の自発的な行動を促進するためのコミュニケーションの手法である。相手の思考を「仕方がないから行う」から「したいから行う」に変え、自ら考え、気づき、自発的な行動を促すことを目的とする。医療機関におけるコーチング活用は、上司と部下の間のみならず、对患者へも有効であると考えられる。また、コンサルタントにとっても、ぜひ身に付けておきたいスキルである。
	13:00 ～ 15:00	<b>【講座名】最近の医療機関における人事労務管理の勘所とマイナンバー対応</b> (株)名南経営コンサルティング 主任研究員 社会保険労務士 服部 英治	雇用の質向上に向けて多くの医療機関が模索をしている中で、人材の定着や確保は依然として十分な解消がされていない。職員の職場環境を改善するための取組み方法、ワークライフバランスの考えの活かし方等について実例を用いて講義する。併せて、2016年1月から開始するマイナンバーへの対応や医療機関への影響についても解説する。
	15:00 ～ 17:00	<b>【講座名】医療法人制度改革と医療法人の事業承継</b> 税理士法人青木会計 代表社員・税理士 青木 恵一	認定医療法人制度による「持分なし」への移行促進策の施行、地域医療構想達成のための地域医療連携推進法人制度や分割制度の創設、透明性確保やガバナンス強化など、医療法人制度改革の渦中で税金対策を含めて事業承継を円滑に進めるためにどう対応するかを解説する。
8月20日(木)	10:00 ～ 12:00	<b>【講座名】介護事業への経営支援の実際と平成30年診療・介護報酬同時改定への対応</b> 小濱介護経営事務所 代表/CG-MAS介護事業経営研究会 最高顧問 小濱 道博	医療・介護系雑誌に好評連載中の「コンサルタント小濱道博の介護経営を斬る！」での紹介事例を中心に、老健やデイケアなどの医療系サービスに焦点を合わせて、介護事業の経営指導ノウハウを解説する。更に、来たるべき平成30年の診療・介護報酬の同時改正への対応策について、介護経営の視点から考察する。
	13:00 ～ 15:00	<b>【講座名】地域医療連携</b> 放送大学大学院 教授 田城 孝雄	地域において効率的かつ質の高い医療提供体制を構築するための地域医療構想と、高齢者が住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができる医療、介護、介護予防、住まい、自立した日常生活の支援が包括的に確保される地域包括ケアシステムを構築するための先進地域の取組みについて解説する。
	15:00 ～ 17:00	<b>【講座名】事例で分かる診療所経営のポイント</b> (株)メディヴァ コンサルティング事業部 シニアマネージャー 柿木 哲也	当社が診療所の運営や再生の支援を行う中で、実際に経験した事例をもとに、診療所を運営していく上での視点・指標と、経営手法・考え方を提示する。成功事例だけでなく、再生事例も交えて、現場の臨場感あふれる状況と、その対応から得た経験、示唆された内容を紹介する。
8月21日(金)	10:00 ～ 12:00	<b>【講座名】Aging in Place 長寿社会のまちづくり 地域包括ケアをめざす柏プロジェクトの実践 ～柏市・UR都市機構・東京大学の連携による取組み～</b> 東京大学高齢社会総合研究機構(前柏市保健福祉部長) 木村 清一	身近に迫る超高齢・長寿社会に対応した「新たなまちづくり」を進めようと、2009年6月に千葉県柏市とUR都市機構と東京大学の3者が研究会を創り「協定」を結び、いわゆる「産学官が一体となった取り組み」をはじめた。このプロジェクトは、Aging in Placeを「長寿社会のまちづくり」の理想と掲げ、それを可能とする社会システムの開発や提案、実践をしようとする先駆的なものである。まちづくりの方針(あるべき姿)は、①いつまでも在宅で安心した生活が送れるまち。②いつまでも元気で活躍できるまち。の二つである。講演では、この方針の実践的な取り組みを通じて、種々の問題や課題をどのように検討し、いかに多職種が連携した活動をすすめてきたか、さらに行政の果たす役割とは何か、取組みのプロセスを示しながら、新たな地域医療・在宅医療システムのまちづくり(地域包括ケアシステム)の創造について紹介する。
	13:00 ～ 15:00	<b>【講座名】地域包括ケアにおける薬局・薬剤師の役割</b> ファルメディコ(株) 代表取締役社長 狭間 研至	「地域包括ケア」という概念のなかでは、要介護高齢者が自立と尊厳を保ちながら住み慣れた地域で最期まで過ごすことが目標とされている。今までの「調剤薬局」や薬剤師ではそのような要請に応えることは困難である。薬学教育6年制を迎えた薬局、薬剤師のあり方について、経験を踏まえて現状と課題、今後の展望をお示しする。
	15:00 ～ 17:00	<b>【講座名】地域包括ケアシステムとこれからの病医院経営</b> (株)ルーセント 代表取締役 長谷川 均	厚生労働省は2025年を目途に地域包括ケアシステムの構築を目指している。また、診療報酬改定、地域医療ビジョンの策定、介護報酬改定等で入院から在宅への患者の流れは加速される。このような環境の激変は病医院の経営に大きな影響を与える。地域包括ケアシステムの仕組みとこれからの病医院経営を考える。

※セカンドステージ定義：医業経営管理全般にわたる体系的な理論、先端的な事例等を専門的に深耕する

**FAX 03-5275-6992**

(代表 FAX : 03-5275-6991 も可)

研修・履修認定係 直通 TEL 03-5275-6993 / 代表 TEL 03-5275-6996  
(公社)日本医業経営コンサルタント協会 事務局 事業第一課行

申込締切  
7月研修-7/12(日)  
8月研修-8/9(日)

**<本部継続研修(平成27年7月・8月/集中)申込書>**

会員 No.		電話	
氏名			
連絡先 (住所・所属等)	※当協会の登録通信先と異なる場合のみお書きください。 〒 _____		

【注】受講を希望する時間の□欄を選択してください。 記入例：■ 10:00~12:00

会場：コクヨホール	
7月22日(水) <input type="checkbox"/> 10:00~「地域包括ケアのが*を握る訪問看護…」 <input type="checkbox"/> 13:00~「地域包括ケアシステムの中で描かれる…」 <input type="checkbox"/> 15:00~「地域医療構想と医療機関の経営戦略」	8月19日(水) <input type="checkbox"/> 10:00~「今、医療機関に必要なコーチング…」 <input type="checkbox"/> 13:00~「人事労務管理の勤所とマインバ*…」 <input type="checkbox"/> 15:00~「医療法人制度改革と医療法人…」
7月23日(木) <input type="checkbox"/> 10:00~「橋本市民病院の経営改革」 <input type="checkbox"/> 13:00~「介護報酬改定後の介護施設…第1部」 <input type="checkbox"/> 15:00~「介護報酬改定後の介護施設…第2部」	8月20日(木) <input type="checkbox"/> 10:00~「介護事業への経営支援と…」 <input type="checkbox"/> 13:00~「地域医療連携」 <input type="checkbox"/> 15:00~「事例で分かる診療所経営のホ*ント」
7月24日(金) <input type="checkbox"/> 10:00~「平成28年診療報酬改定に向けて…」 <input type="checkbox"/> 13:00~「医療ワーク導入による勤務医の…」 <input type="checkbox"/> 15:00~「始まります。医療事故調査制度。」	8月21日(金) <input type="checkbox"/> 10:00~「Aging in Place 長寿社会の…」 <input type="checkbox"/> 13:00~「地域包括ケアにおける薬局・薬剤師」 <input type="checkbox"/> 15:00~「地域包括ケアシステムと病医院経営」

合計受講料： \_\_\_\_\_ 講義 × 6, 000円 = \_\_\_\_\_ 円

郵便振替払込金受領証を貼り付けてください。

【注】研修当日は、認定登録 医業経営コンサルタント証票、または  
継続研修受講カードにより受付を行いますので、必ずご持参ください。

※本部継続研修は、会員専用ページからWeb申込で受講申し込みいただけます。  
※メールの登録が未手続きの方は、協会ホームページの会員専用ページからのメールアドレスの  
登録にご協力をお願いいたします。

当案内は、協会ホームページのトップページからPDFファイルでダウンロードいただけます。